



LIXIL ハンドルセット・シリンダーセット・箱錠セット 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付け上のお願

●本製品の鍵穴に、スプレー式潤滑油(CRC556など)やマシン油を注入しないでください。作動不良などの不具合の原因になります。万一鍵がスムーズに動かない場合は、当社指定の鍵穴用パウダー潤滑材(DASZ020)又は鉛筆の芯を粉状にして注入してください。

■梱包明細

※取付け前に必ず梱包内容をご覧ください。

■ハンドルセット(別途手配)

名称	入数	詳細
外側把手セット	1個	-
内側把手セット	1個	-
把手取付け部品	1セット	内側台座カバー／2個、皿小ねじM5×30／4本
ラッチ箱錠	1個	皿小ねじM4×16／2本

■シリンダーセット(別途手配)

名称	入数	詳細
シリンダー	1セット	シリンダー／2個、子鍵／5本、工事キー(コンストラクションキー)／3本

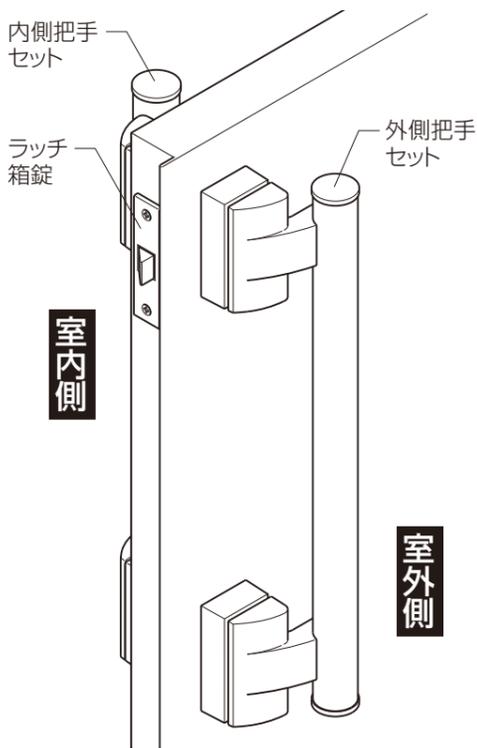
■箱錠セット

名称	入数	詳細
箱錠	2個	皿小ねじM4×12／4本
サムターン ^{※1}	1セット	サムターン／2個、皿小ねじM5×40／4本 <セキュリティサムターン仕様の場合> サムターン・セキュリティサムターン／各1個、皿小ねじM5×40／4本
取付け説明書	1枚	-

※1 エントリーシステムの場合は、「サムターン」は梱包されません。別途手配品エントリーセットに電動サムターンが梱包されています。

■取付け完成図

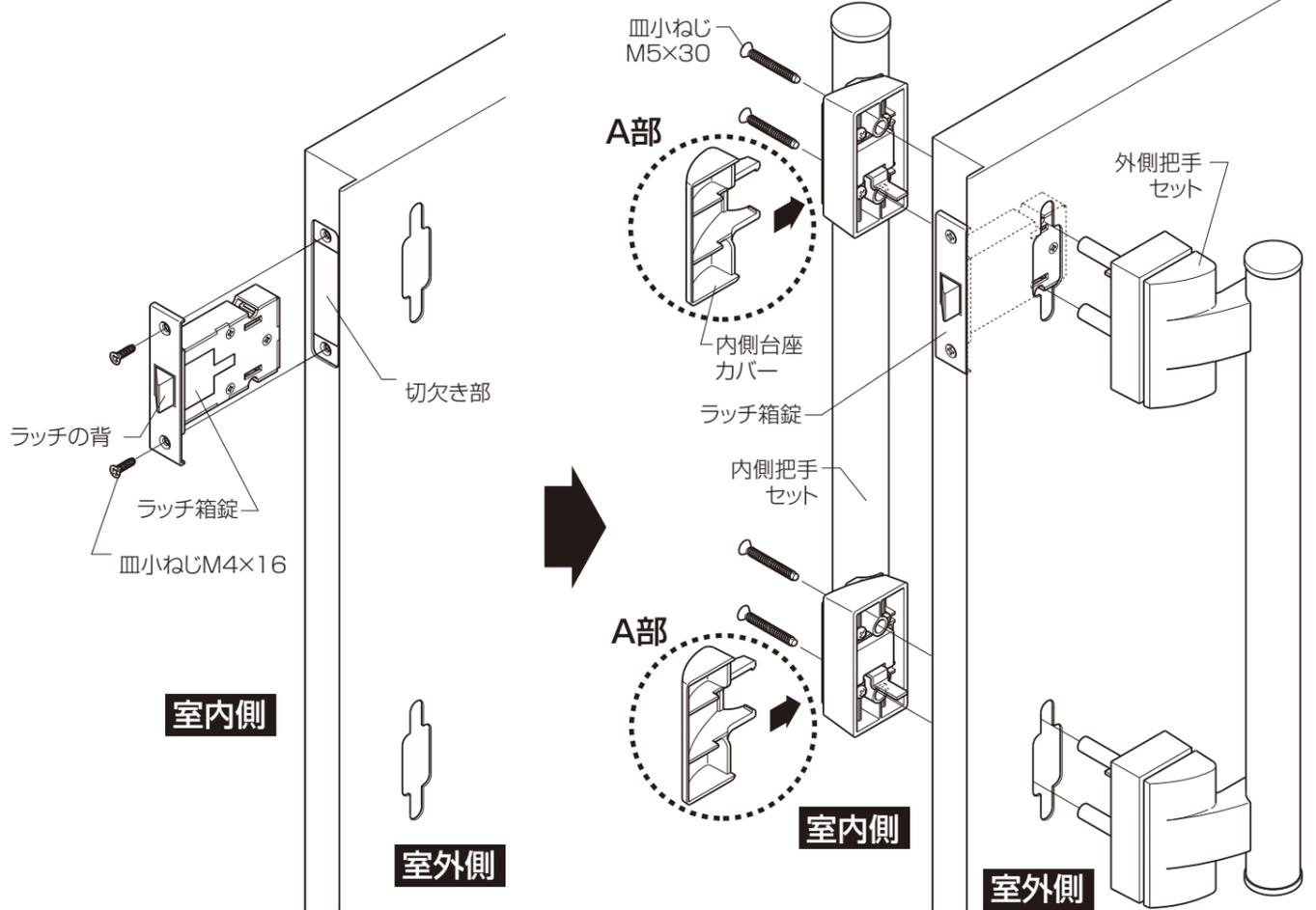
1 把手



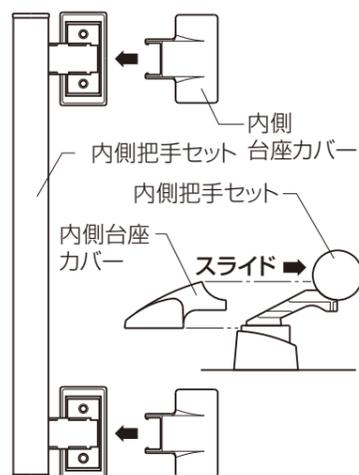
■取付け順序

1 把手の取付け

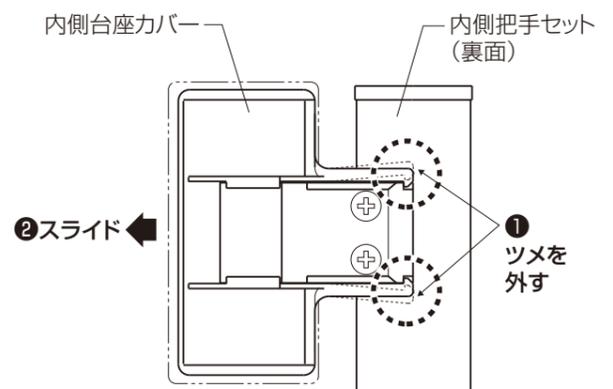
- ①ラッチの背を室外側に向け、皿小ねじで切欠き部にラッチ箱錠を取付けます。
- ②外側把手セットを室外側から差込みます。
- ③内側把手セットを皿小ねじで固定します。
- ④内側台座カバーを内側把手セットに取付けます。



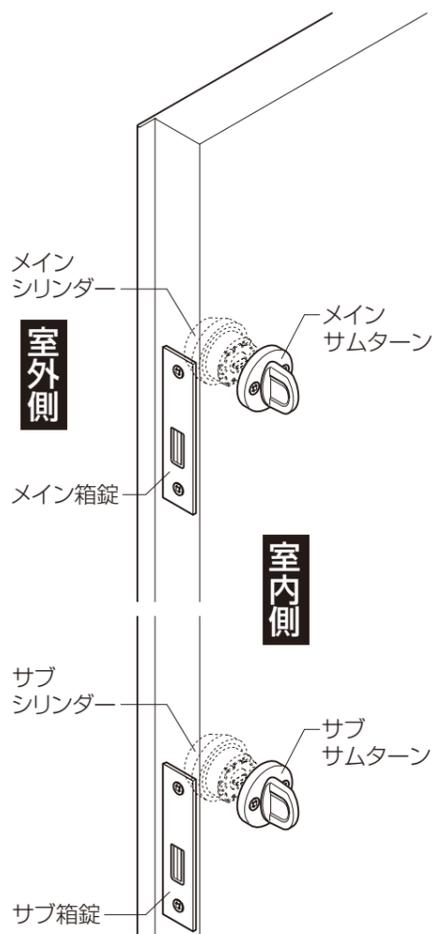
■内側台座カバーの取付け方(A部詳細図)



■内側台座カバーの外し方



2 箱錠・シリンダー・サムターン



2 箱錠・シリンダー・サムターンの取付け

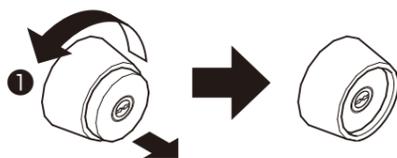
- ①皿小ねじで箱錠(上)を取付けます。
 - ②皿小ねじで箱錠(下)を取付けます。
- ※箱錠に上下の区別はありません。

【WNキーの場合】

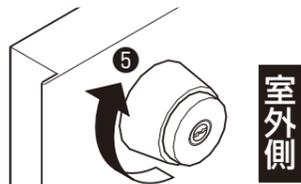
- ①シリンダーを箱錠の丸穴に差込みます。
※シリンダーに上下の向きはありません。
 - ②サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。
※サムターンのツマミは縦にしてください。セキュリティサムターンの場合は切替えレバーを通常モードにした状態でサムターンのツマミを縦にしてください。
 - ③サムターンをシリンダーにねじ止めします。
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの下に張ってください。
- ※メイン・サブ用シリンダー、サムターンの区別はありません。

【DNキーの場合】

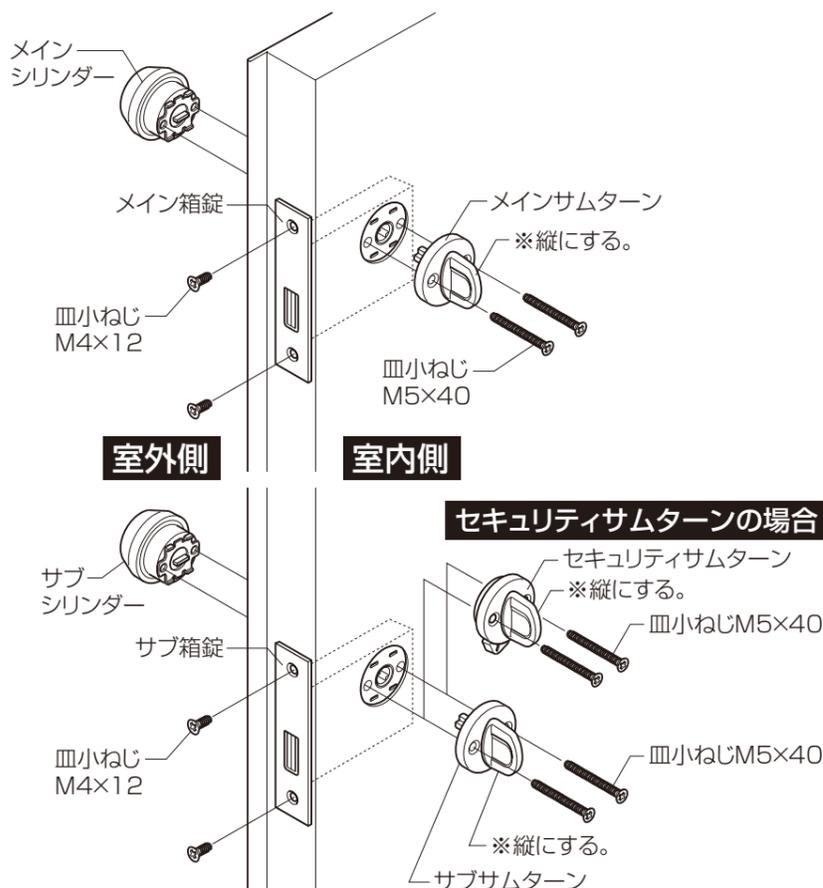
- ①シリンダー座を反時計回りに回し、シリンダー正面に移動させてください。



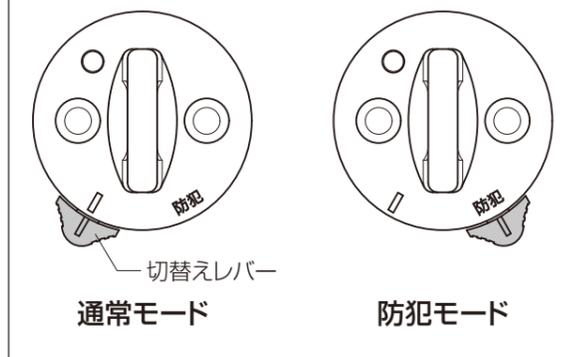
- ②シリンダーの刻印を上に向け、箱錠の丸穴に差込みます。
- ③サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。
※サムターンのツマミは縦にしてください。セキュリティサムターンの場合は切替えレバーを通常モードにした状態でサムターンのツマミを縦にしてください。
- ④サムターンをシリンダーにねじで仮締めします。
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
- ⑤シリンダー座をドアの表面に合わせ締め込み、仮締めしたねじを増締めします。



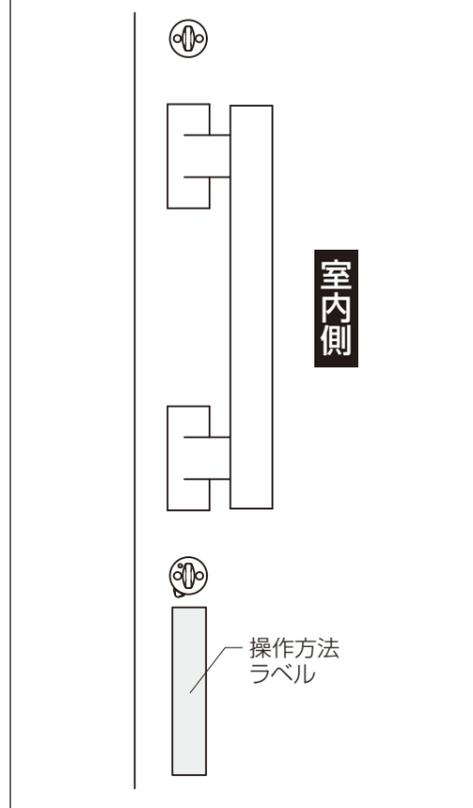
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの下に張ってください。
※メイン・サブ用シリンダー、サムターンの区別はありません。



■セキュリティサムターン詳細図



■操作方法ラベル張付け位置



■コンストラクション装置について(装置付きの場合)

- シリンダーにはコンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以降はコンストラクションキーでは施解錠できなくなります。
- 封印シールが張ってあるシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれていないため、お引渡し時にシールをはがし、作動を確認してください。